



平成 9 年 2 月 2 4 日  
日本原子力発電株式会社

### 敦賀発電所 1 号機の点検状況について（制御棒駆動水圧系配管からの漏えい）

当社、敦賀発電所 1 号機（沸騰水型軽水炉：定格出力 35 万 7 千キロワット）は、平成 9 年 2 月 4 日 10 時 00 分から第 24 回定期検査の調整運転を開始し、2 月 5 日 0 時 00 分から定格出力で調整運転を行っていましたが、2 月 20 日 14 時 50 分頃、制御棒駆動水圧系配管（直径約 6cm：炭素鋼）の壁貫通つけ根部からの微少な漏えいを発見したため、同日 16 時 30 分に出力降下を開始、20 時 30 分に発電を停止し、翌 21 日 2 時 00 分に原子炉を手動停止しました。

なお、この事象による環境への放射能の影響はありません。（平成 9 年 2 月 20 日発表済）

#### 〔点検状況〕

配管漏えい部について、外観点検及び浸透探傷試験を実施した結果、外面には溶接部に沿って約 35mm の指示、内面には直径約 2mm の指示が認められました。  
今後、当該部の破面観察等の詳細原因調査を実施する予定です。

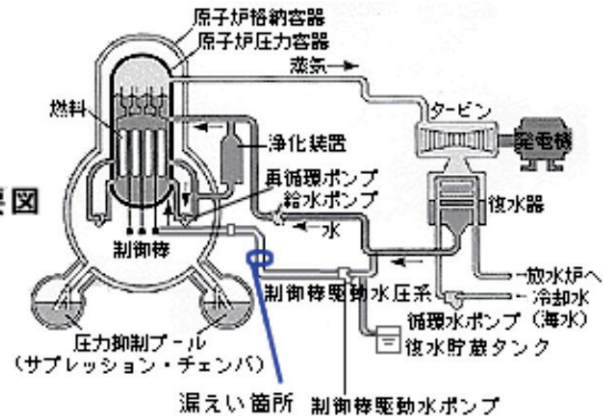
なお、本事象による外部への放射能の影響はありません。  
また、資源エネルギー庁による国際原子力事象評価尺度（INES）暫定評価では、レベル 0 とされている事象です。

以上

概要図 [敦賀発電所 1 号機概要図](#)

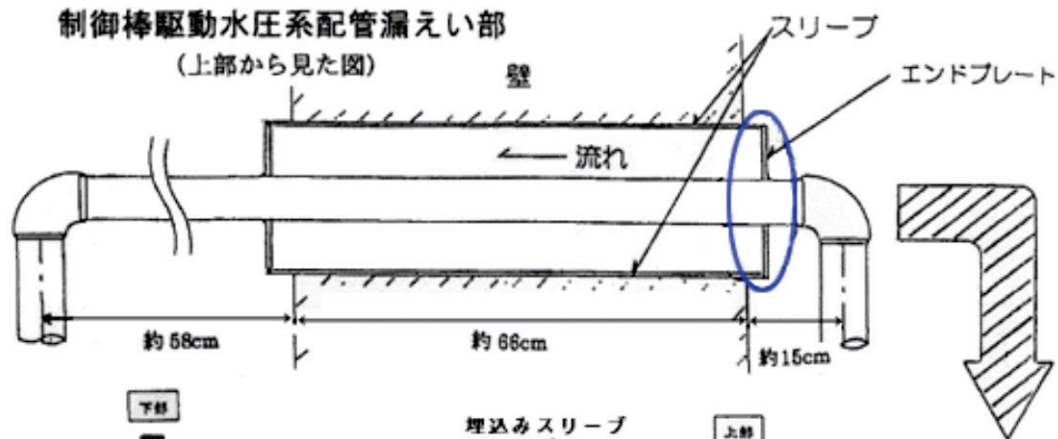
## 概要図

敦賀発電所1号機  
(沸騰水型軽水炉) 概要図



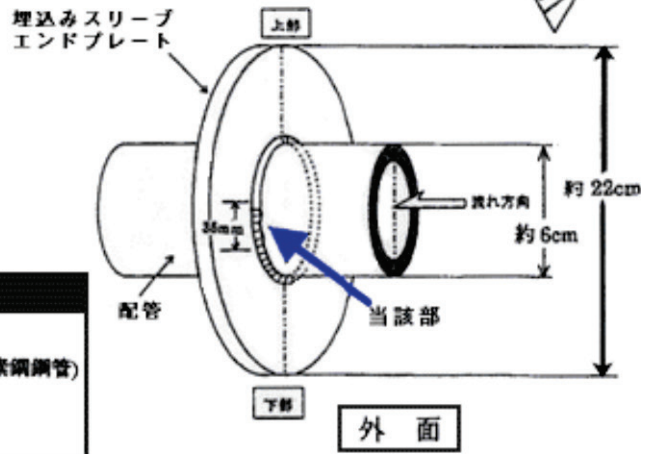
制御棒駆動水圧系配管漏えい部

(上部から見た図)



### 配管仕様

材質：STPT-42  
(高温配管用炭素鋼鋼管)  
外径：60.3mm  
厚さ：8.7mm



## 断面・破面観察結果

